

# 酒パブリックリサイクル促進協議会

Vol.23 平成30年12月15日 発行 発行：酒パブリックリサイクル促進協議会

選任するの後任を内監査役された木より退任初に所属団体での定年退職に

新監査役 船戸 正義氏

企業40名の参加がありました。今回の情報交流会では、最



熊本国税局 酒類調整官 梶尾 仁氏

平成30年10月11日(木)宮崎市のホテルメリージュに於いて、第34回情報交流会を開催いたしました。



亀井会長

## 酒パブリックリサイクル促進協議会 平成30年臨時総会&第34回情報交流会「宮崎会議」

ための臨時総会を行い、日本酒造組合中央会の船戸正義氏が新たに監査役に選任され、その報告をさせていただきます。



会議の様子

事務局長からは、7月の第11回定期総会とそれ以降の活動報告を行い、酒パブリックリサイクルの主体的取組みとして、酒パブリック再生品の開発と各社への協力呼びかけを行いました。また調査・広報専門部会

からの活動報告に続き、今回は3人の講師にご講演いただきました。最初に綾町役場から農林振興課の湯浅係長に「綾町の取り組みについて」、霧島酒造のグリーンエネルギー部係長 東森義和氏



霧島酒造 グリーンエネルギー部 係長 東森 義和氏

長には「焼酎粕リサイクルへの取り組み」を、最後に月桂冠生産管理部小島部長に「酒パブリックリサイクルの活動事例」の講演をお願いしました。



綾町役場 農林振興課 有機農業振興係 係長 湯浅 邦弘氏



月桂冠株式会社 生産管理部 部長 小島 泰弘氏

内容については、中面をご参照下さい。

### 酒パブリックリサイクル促進協議会 組織体制

会長	亀井 慶承 (日本酒造組合中央会)
副会長	小島 泰弘 (月桂冠)
運営委員	和泉 智成 (大関)
	伊藤 順 (盛田)
	井上 哲也 (宝ホールディングス)
	植松 正浩 (凸版印刷)
	岡本 直久 (中野酒造)
	國弘 武嗣 (大日本印刷)
	城村 孝幸 (霧島酒造)
	杉本 武彦 (小山本家酒造)
	立木 義広 (日本盛)
	畑 英樹 (白鶴酒造)
	古川 浩正 (オエノンホールディングス)
監査役	新任 船戸 正義 (日本酒造組合中央会)
	古田 晴子 (印刷工業会)
事務局	和田 志津子 (集めて使うリサイクル協会)
	西田 克彦 (西田)
【専門部】	
広報部会・部長	古川 浩正 (白鶴酒造)
調査部会・部長	國弘 武嗣 (大日本印刷)

### ●酒パブリックリサイクル促進協議会 会員リスト●

- |                          |   |                           |
|--------------------------|---|---------------------------|
| 1 日本酒造組合中央会 (東京都)        | 15 三和酒類株式会社 (大分県)                                 | 27 石塚硝子株式会社 (東京都)         |
| 2 雲海酒造株式会社 (宮崎県)         | 16 高千穂酒造株式会社 (宮崎県)                                | 28 大日本印刷株式会社 (東京都)        |
| 3 オエノンホールディングス株式会社 (東京都) | 17 高橋酒造株式会社 (熊本県)                                 | 29 東京製紙株式会社 (静岡県)         |
| (合同酒精・福徳長酒類 他)           | 18 宝酒造株式会社 (京都府)                                  | 30 凸版印刷株式会社 (東京都)         |
| 4 大口酒造株式会社 (鹿児島県)        | 19 辰馬本家酒造株式会社 (兵庫県)                               | 31 日本製紙株式会社 (東京都)         |
| 5 大関株式会社 (兵庫県)           | 20 中野酒造株式会社 (愛知県)                                 | 32 日本テトラパック株式会社 (東京都)     |
| 6 関西ボトリング株式会社 (兵庫県)      | 21 日本盛株式会社 (兵庫県)                                  | 33 北越パッケージ株式会社 (東京都)      |
| 7 菊正宗酒造株式会社 (兵庫県)        | 22 白鶴酒造株式会社 (兵庫県)                                 | 34 紙製容器包装リサイクル推進協議会 (東京都) |
| 8 黄桜株式会社 (京都府)           | 23 平喜酒造株式会社 (岡山県)                                 | 35 一般社団法人全国清涼飲料連合会 (東京都)  |
| 9 霧島酒造株式会社 (宮崎県)         | 24 伏見清酒パック協同組合 (京都府)                              | 36 株式会社トベ商事 (東京都)         |
| 10 月桂冠株式会社 (京都府)         | (北川本家・齋藤酒造・招徳酒造・玉乃光酒造・鶴正酒造・豊澤本店・都鶴酒造・山本勘蔵商店・山本本家) | 37 大和板紙株式会社 (大阪府)         |
| 11 小西酒造株式会社 (兵庫県)        |   | 38 株式会社日誠産業 (徳島県)         |
| 12 株式会社小山本家酒造 (埼玉県)      |   | 39 コアレックス信栄株式会社 (静岡県)     |
| 13 薩摩酒造株式会社 (鹿児島県)       | 25 盛田株式会社 (愛知県)                                   | 40 株式会社田中商店 (熊本県)         |
| 14 沢の鶴株式会社 (兵庫県)         | 26 印刷工業会 (東京都)                                    |                           |

事務局:特定非営利活動法人 集めて使うリサイクル協会 (大阪府)

### 「酒パブリックリサイクル促進協議会」参加申込書

「酒パブリックリサイクル促進協議会」に下記内容で、参加を申し込みます。

年会費: 1口 50,000円 ( 口、 円)

年会費は、紙パック酒出荷数に応じて下記のように設定しています。(平成28年3月改訂)

- ◆ 1.8ℓ換算で、100万本未満 1口 50,000円
- ◆ 1.8ℓ換算で、100万本以上1,000万本未満 2口 100,000円
- ◆ 1.8ℓ換算で、1,000万本以上 5口 250,000円

※なお、酒造メーカー以外の会員様の年会費は、1口 50,000円です。

記入日		
会社名・団体名		
所属・役職名		
担当者名		
住所	〒	
電話・FAX番号	TEL	FAX
メールアドレス		

\*FAX(06-6271-8666)でお申し込みください。追って年会費振込口座等のご連絡をさせていただきます。ご不明な点がございましたら、事務局:集めて使うリサイクル協会(西田)までお問合せ下さいませようお願い申し上げます。

酒パブリックリサイクル促進協議会  
事務局:NPO法人 集めて使うリサイクル協会  
大阪市中央区南船場1-12-3 船場グランドビル9階  
TEL 06-6271-8665 FAX 06-6271-8666

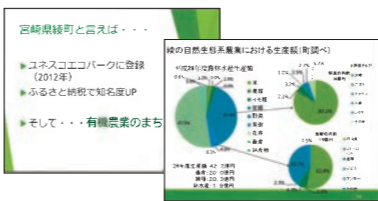


綾町の取組みについて

綾町役場 農林振興課  
有機農業振興係係長  
湯浅邦弘氏



2012年にユネスコエコパーク(生物圏保存地域)に国内として登録され、「自然生態系を生かして育てる町にしよう」という綾町憲章を掲げる照葉樹林都市・綾町から農林振興課の湯浅係長に綾町の取組みについて、講演をお願いしました。化学肥料や化学合成農薬等を使用しない自然生態系農業を推し進め、基幹産業である農業の活性化によって町全体を活性化させることを目指している。



結果ふるさと納税額も近年10億円前後に伸びており、人口7,300人の町に毎年300人程度の移住者が見られるようになってきた。

焼酎粕リサイクルへの取組み

霧島酒造株式会社 生産本部  
グリーンエネルギー部係長  
東森義和氏



過去においては、農地散布と海洋投棄による処理を行っていた焼酎粕が、廃棄物処理法改正やロンドン条約締結などで難しくなり、様々なリサイクルを試みた中で2006年に高温メタン発酵システムのリサイクルプラントを導入、さらに2011年増設により処理能力を2倍に増強。回収されたバイオガスが本社増設工場総熱源のうち65%をカバーするまでになった。現在は余ったバイオガスを有効利用するための発電機を導入、1日2,000世帯分の電力を生み出し、2014年には第23回地球環境大賞農林水産大臣賞を受賞した。



現在に至る経過をご説明していただいたことで、新しい会員やオプザバーなどの参加者にとって非常に理解しやすい解説になったと感じています。

酒パクリサイクル活用事例

月桂冠株式会社  
生産管理部部長  
小島泰弘氏



京都市の依頼で、JICAの海外研修生向けに月桂冠小島氏が講演された、「酒造メーカーが共同して取り組む酒パクリサイクルの取り組み」を、再度今回酒促進協の情報交流会の参加者に向けて講演していただきました。「容器包装リサイクル法について」「酒パクリサイクル促進協議会発足の歴史について」「酒パクリのリサイクル促進活動について」の内容で過去から現在に至る経過をご説明していただいたことで、新しい会員やオプザバーなどの参加者にとって非常に理解しやすい解説になったと感じています。



紙好き交流センター訪問

2018年11月9日(金)大阪府交野市



広報部会古川部会長の呼びかけで、紙好き交流センターの見学を行いました。白鶴酒造・宝酒造大和板紙・集めて使うリサイクル協会の6名が参加し、酒パックのアルミとポリの剥離、裁断、溶解、漉き作業、脱水、乾燥等紙漉き工程の実態を実演とその解説で、初めてご



覧になる方も十分理解できたのではと思います。紙好き交流センターで開発された紙漉き機器と指導によって、全国の福祉作業所製品のレベラアップと均一化が可能になった状況がはつきり理解できる有意義



な見学になったと思われる。

酒パクリサイクル促進協議会 宮崎地区見学会

雲海酒造 / 綾自然蔵見学館  
宮崎県東諸県郡綾町  
2018年10月12日(金)



10月12日(金)雲海酒造綾自然蔵を25名の参加者で見学させていただきました。多目的ホールで

大画面に映し出される綾の雄大な自然と昔ながらの酒づくりの映像を見た後、パック詰め工程や広



大なスペースの貯蔵庫をめぐり、本格焼酎はもちろん、地ビールやワインなど雲海酒造の様々なお酒が揃う試飲会場で、大いに盛り上がりました。

ANAウイングフェローズ ヴィ王子株式会社

宮崎県宮崎市青島  
2018年10月12日(金)



見学の様子

10月12日(金)ANAの特例子会社ANAウイングフェローズ・ヴィ王子の青島ファクトリーの見学会に酒促進協メンバー22名が参加しました。ANA青島ファクトリーでは、地元宮崎の霧島酒造の協力を得て、酒パックを原料にした手漉き製品を製作、販売しています。名刺やハガキ・表彰状にスケッチブックなど、スタートして間がないにもかかわらず高度な技術を会得したメンバーが、入手した酒パックから、優れたできればの製品を次々生み出しています。

エコプロ2018

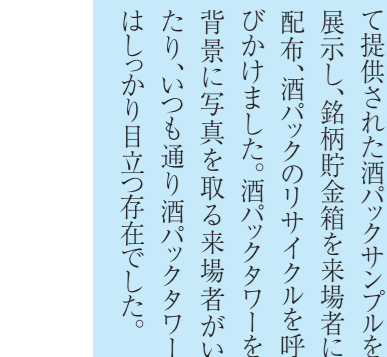
SDGs時代の環境と社会、そして未来へ

◆とき…12月6日(木)～8日(土) ◆ところ…東京ビッグサイト

毎年集めて使うリサイクル協会と印刷工業会が、酒パック・アルミ付紙パックのリサイクルを促進する目的で共同ブースを



出展しているエコプロ2018に、今年も酒促進協が出展協力を行いました。例年通り酒造各社の協力によって提供された酒パックサンプルを展示し、銘柄貯金箱を来場者に配布、酒パックのリサイクルを呼びかけました。酒パクリタワーを背景に写真を取る来場者がいたり、いつも通り酒パクリタワーはしっかりと目立つ存在でした。



会場の様子

開催3日間の総来場者数  
162,217人(主催者発表)  
(昨年度は160,091人)

毎年好評の酒パック貯金箱

